

補助事業番号 21-51

補助事業名 平成21年度 地域における戦略産業イノベーション推進補助事業

補助事業者名 財団法人 九州産業技術センター

1. 補助事業の概要 (<http://www.kitec.or.jp/>)

(1) 事業の目的

技術シーズ・ニーズの広域マッチングから研究開発、事業化・実用化に向けたフォローアップを一貫した支援体制を構築することにより、地域における機械工業の技術高度化、高付加価値化による国際競争力の強化、販路開拓、新事業の創出等を図り、国等が実施する提案公募型研究開発事業への提案・採択等を通じ、実用化・事業化による機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

①イノベーション創出委員会

第1回イノベーション創出委員会 平成21年6月16日開催

「平成21年度事業創出研究会研究開発委託の評価選定」

第2回イノベーション創出委員会 平成22年2月17日開催

「平成21年度事業実施状況報告及び事業内容の評価及び審議」

②マッチングプロデュース活動

発掘した技術ニーズ及びシーズ128件について、事業化へのステージアップを行った。11テーマについて28回の打合会を開催し10件のマッチングに成功し、一部は国等のプロジェクトである提案公募型研究開発事業に応募した。

第1回マッチングプロデューサー連絡会 平成21年 6月19日開催

・マッチングプロデュース活動実施要領、計画の説明

第2回マッチングプロデューサー連絡会 平成21年 9月4日開催

・情報交換、支援施策の紹介、産学官連携技術交流会への参加

第3回マッチングプロデューサー連絡会 平成21年 12月8日開催

・効率的なマッチングに向けた意見交換

第4回マッチングプロデューサー連絡会 平成21年 2月9日開催

・九州イノベーション創出促進協議会との連携進捗状況について

③産学官連携技術交流活動

ア. 広域連携型産学官連携技術交流会

・開催日：9月4日（金）

・テーマ：「有明高専発 産学官連携シンポジウム」

・講演「産学官連携を考える～新炭素資源学 COE における事例から～」

イ. 広域分野型産学官連携技術交流会

- ・開催日：11月12日（木）
- ・テーマ：「プロダクトライン産学官連携技術交流会 in 北九州」
- ・講演「現実的なソフトウェアプロダクトラインの導入アプローチ」
「メディカルデバイスソフトウェア開発の世界で最新の開発方法論」

ウ. 地域資源活用型産学官連携技術交流会

- ・開催日：11月19日（木）
- ・テーマ：「地域の活性化を目指した先端的 医・農・工 産学官連携技術シンポジウム」
- ・講演「産学官連携の新しい方向への進展」
- ・長崎県域内における産学官連携の事例報告とシーズ発表



（長崎技術交流会会場写真）

④ 事業創出研究会

九州地域の大学等研究機関及び公設試等から38件の応募があり、イノベーション創出委員の技術・総合評価を受けて計11件の研究開発テーマを採択した。

〔実用化研究会・研究会A・研究委託〕

「堆肥を燃料とする専焼ボイラーの開発」

「導電性を有する半導体製造装置用高プラズマ耐性新規材料の開発」

「光反応性・溶媒可溶性ポリイミド材料の開発と電子材料への応用」

「超微粒 C60 フラーレン応用超精密ポリシングの研究」

「自動車部品等への実用化を目指した金属ガラスと結晶金属との接合技術開発」

「パルスパワーによる廃コンクリート製品からの骨材回収技術」

「畜産技術をベースにした疾患マイクロミニピッグ生産技術の事業化に係る検

討」

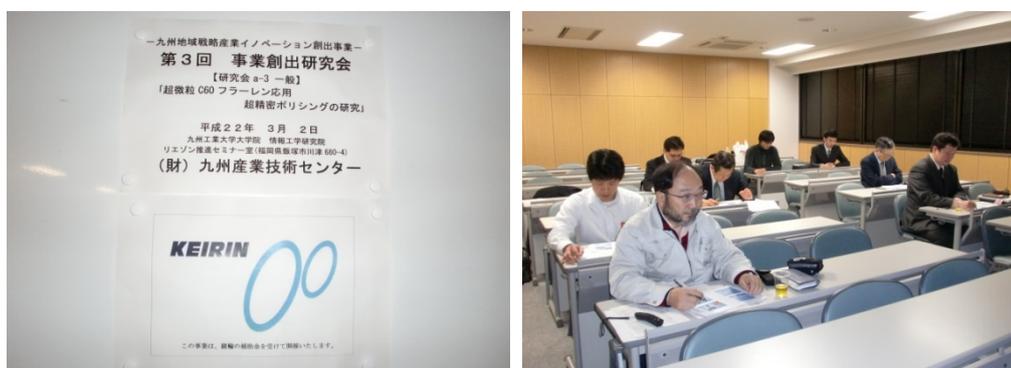
〔育成研究会・研究会B・研究委託〕

「高真空・高速成膜可能な厚膜作製装置の構築と磁石膜の開発」

「酸性基導入配位高分子を用いた新規高プロトン伝導体の開発」

「RAS法による機能性薄膜の高速低温結晶化成膜技術開発」

「美味しい米づくりを科学するハイテク・モバイル化と海外普及戦略」



(事業創出研究会の様子)

2. 予想される事業実施効果

① イノベーション創出委員会

6月の第1回開催は、応募のあったテーマ案件の技術評価・総合評価を行い、機械工業の振興に資する研究開発テーマを選定、事業化への諸課題の検討をはじめとしたブラッシュアップへの助言等を行い事業の成果につなげた。

第2回イノベーション創出委員会は、21年度事業の全般にわたり、実用化・事業化への適切なアドバイスが行われ、今後の具体的な成果が期待できる。

② マッチングプロデュース活動

マッチングプロデューサーとして大学等研究機関、産学連携支援機関、企業OB等21名(1名は広域マッチングプロデューサー)を委嘱し、大学や公設試、地域企業等を訪問して、相談や情報交換を行う一方、当事業活動の産学官連携技術交流会や事業創出研究会に参加して、情報交換や指導・支援を行った。その結果、技術シーズ及びニーズ128件の発掘・評価に成功した。発掘した技術シーズ及びニーズについて、プロデューサー自らが事業化の可能性(市場性等)を評価し、有望なものについてはコーディネートを図って打合会を立ち上げる等、事業化へのブラッシュアップを図り、次のステップへの足掛かりを築いた。特に、「真空断熱材の開発及び評価」や「アルマイトナノポアフィルムを利用した化合物系太陽電池の開発」などについても打合会を実施しており、今後の展開が期待される。

③ 産学官連携技術交流活動

産学官の広域連携を促すため、大学等の研究・技術シーズと企業の技術ニーズとの共同研究開発事例の発表や当事業の具体的な効果の広報など、特色のある交流会を開催した。その結果、技術シーズの産業界への移転並びに先端技術の共同研究の推進等が図れた。

④ 事業創出研究会

九州地域の大学等研究機関から 38 件の応募があり、イノベーション創出委員による技術評価・総合評価を受けて計 11 件の研究開発テーマを採択した。採択した 11 件については大学等研究機関に研究委託するとともに、当センターの技術振興部の部員 6 名を担当責任者として配置し、研究開発テーマ毎に実用化・事業化に向けた取り組みや共同研究体制作りへの検討、あるいは国等が実施している提案型研究開発事業等への応募に向けたブラッシュアップを行う「事業創出研究会」を開催した。(研究会開催数 25 回、参加者総数 178 名)

その結果、事業創出研究会から国等へのプロジェクトに 4 件の申請があり、新規産業の創出、事業化などが期待される。

3. 本事業により作成した印刷物等

平成 21 年度九州地域戦略産業イノベーション創出事業研究開発委託事業募集要項
平成 21 年度九州地域戦略産業イノベーション創出事業研究開発委託事業募集案内
マッチングプロデュース案内～広域産学マッチングによる新事業創出を目指して～
有明高専産学官連携シンポジウムチラシ・ポスター・予稿集
プロダクトライン産学官連携技術交流会 in 北九州チラシ・予稿集
産学官連携技術交流会 in 長崎「地域の活性化を目指した先端的医・農・工 産官学連携技術シンポジウム」チラシ・ポスター・予稿集
平成 21 年度マッチングプロデューサー調査報告書
平成 21 年度九州地域戦略産業イノベーション創出事業事業創出研究成果報告書

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人九州産業技術センター(キュウシュウサンギョウギジュツセンター)
住所： 812-0013
福岡県福岡市博多区博多駅東 2-13-24
代表者名： 会長 鎌田 迪貞 (カマタ ミチサダ)
担当部署： 技術振興部 (ギジュツシンコウブ)
担当者名： 技術振興部長 二階堂 正憲 (ニカイドウ マサノリ)
電話番号： 092-411-7394
FAX 番号： 092-472-6688
U R L： <http://www.kitec.or.jp/>